

令和6年度（2024年度）新規研究課題

課題番号：R6-07

課題名：吸血昆虫に起因する牛のストレス軽減技術の開発

研究期間：令和6～8年（2024年～2026年）

研究担当：畜産技術部放牧環境研究室

農林業技術部環境技術研究室

九州大学大学院比較社会文化研究院

1 研究の背景

サシバエ、アブ等の吸血昆虫は、吸血行動により牛にストレスを与えるだけでなく、感染症の伝播にも関わっており問題となっている。

飼料価格高騰や子牛価格の下落、高齢化や担い手不足等による費用面の負担、多大な労力負担に加え、現行の吸血昆虫対策は、牛舎の構造上の問題や作業の煩雑さ、安全性への配慮の必要性等により、農家が対策に取り組む上で障害となっている。

2 目的

サシバエ、アブ等の吸血昆虫の発生状況や牛に与えるストレス等を把握し、より容易、安価、安全な方法を開発し農家へ普及する。

3 研究内容

(1) 効果的な防除法の確立

発生源の調査

忌避剤の効果確認

殺虫剤の使用法改善

(2) 効果的なトラップ活用法の確立

各種トラップの効果確認と現地実証

(3) 寄生蜂¹⁾の活用によるサシバエ発生抑制効果の確認（九州大学との共同研究）

寄生蜂資材の現地実証

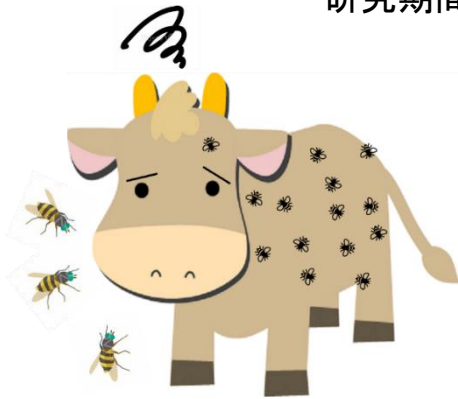
4 研究のポイント

サシバエ、アブ等の吸血昆虫が生産性に与える影響を調査することで有効な対策を検証し、小規模農場でも実施できる安価で容易かつ安全な対策を確立する。

脚注 1) 幼虫が他の昆虫やその幼虫、卵等に寄生するハチの総称。宿主の天敵となるものは害虫の駆除にも利用される。

吸血昆虫に起因する 牛のストレス軽減技術の開発

研究期間: R6~R8 担当: 畜産技術部放牧環境研究室



【研究の背景: 被害面】

サシバエ、アブ等の吸血昆虫により、牛はストレスを受け、生産性が低下
感染症の伝播に関係

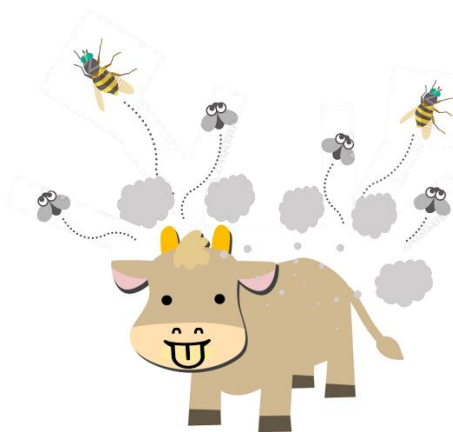
【研究の背景: 対策面】

飼料価格の高騰、子牛価格の低迷(費用面の負担)
高齢化・担い手不足(労力面の負担)



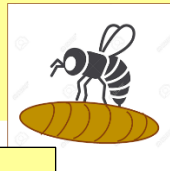
【研究の目的】

サシバエ、アブ等の吸血昆虫の発生状況や牛に与えるストレス等を把握し、より容易、安価、安全な方法を開発し、農家へ普及する。

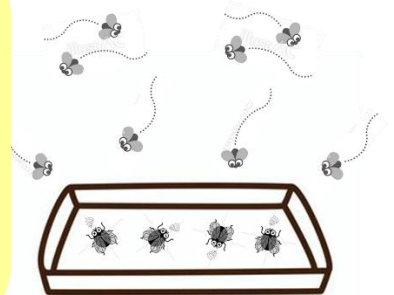


【研究内容】

- ・効果的な防除法の確立
- ・効果的なトラップ活用法の確立
- ・寄生蜂の活用によるサシバエ発生抑制効果の確認
(九州大学との共同研究)



サシバエのサナギに卵を産み付ける寄生蜂(イメージ)



サシバエ、アブ等の吸血昆虫に起因する牛のストレスを軽減し、生産性向上を実現する。

